

## 植物の持つ力

大恵 やすよ 兵庫県西宮市 四十二歳

「昨日より大きなってる！」

毎日届く母からのメール。

添付された写真を見るが、昨日との違いがわからない。

それでも「すごい！」と返信する私。

母が送ってきた写真に写っている植物はジャガイモだ。

母は、購入したジャガイモをすぐに食わず、そのままにしておく癖がある。

帰省した際、芽が出たジャガイモを見つけた私は、埋めてみるよう勧めてみた。

するとその翌週からというものの、母が毎日のようにジャガイモの様子をメールで伝えてくるようになった。

すくすく育つジャガイモに味を占めた母は、流行りのリポベジを始めた。

リポベジとは「リポーンベジタブル」の略で、普段は捨ててしまう野菜のヘタなどを、もう一度食べられるように育てることを意味するらしい。

ネギや小松菜、ニンジン育てているのだとうれしそうに話す母。

上手く育つ野菜とダメな野菜があるらしい。

一喜一憂する母を見ていると、私もリポベジに挑戦したくなった。

それまで母とは共通の話題がなく、週に一度やりとりがあるかないかの状態だった。

それが最近では、お互いに育てている野菜の写真を毎日のように送り合っている。

「何の楽しみもない…」と愚痴をこぼしていた母が、リポベジにはまってから毎日生き生きしている。

植物の再生力はすごいが、植物が人に与える力もすごいと感じる。

「ショック！虫にやられた…」と、小松菜の葉に穴が開いた写真を送ってくる母は、今日も植物の世話に勤しんでいるようだ。